



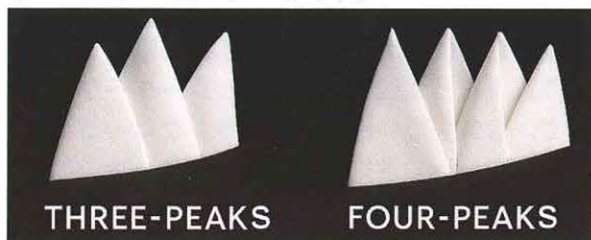
ファッションの
ちょっと・ウンチク

ポケットチーフ

MLBオールスターイベントでのレッドカーペットでは、大谷翔平選手夫妻の桃色コーデのファッションが話題になりました。また、茶色のポケットチーフに「あれはデコピンカラー!？」といった声もありました。

男性のおしゃれアイテムとして、ポケットチーフはテレビキャスターの皆さんの胸元にもよく見かけます。フォーマルな場面では、落ち着いた色味のスーツが一般的ですが、ポケットチーフがあるだけで、上品さと華やかさをプラスすることができます。

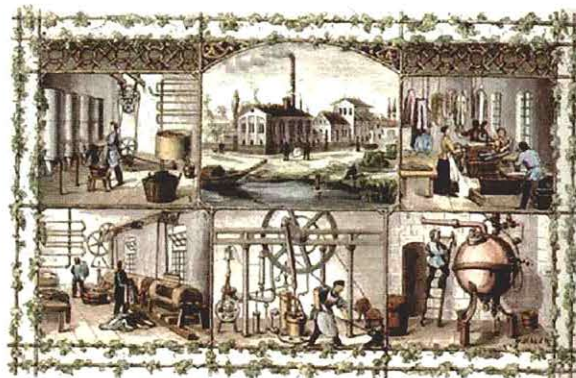
チーフの挿し方も多様です。ビジネスにはTVホールド（フォーマルでクラシックな挿し方。テレビのニュースキャスターがよく使っていたため「TVホールド」と呼ばれます。ポケットチーフを正方形にきっちり四つ折りにして、端を整えながら、上部がまっすぐ直線的に見えるようにポケットに挿す）。ちょっとカジュアルな感じにパフドホールド（チーフの中央をつまんで、持ち上げるようにして自然な丸みを作り、そのまま下の方をつぼめて、ふくらみを上にしてポケットへ入れる）。フォーマルな場には、スリーピークスかフォーピークスということです。



*参考文献：PHP刊『大人の男の服装術』滝沢滋著

絵画の中の洗濯風景

19世紀末の画期的な ドライクリーニング工場



ドイツベルリンのクリーニング工場(1878年)

ドライクリーニングが発明される19世紀中期以前までは、装飾的な衣装やフォーマルウェアなどは洗うことができず、しみ抜き程度のメンテナンスしかできませんでした。このため、臭いを隠す香水が発達しました。

しかし、ドライクリーニング技術が、1855年の第1回パリ万博で発表されて以来、瞬く間に世界に広まり、一般大衆も気楽にメンテナンスできるファッションを楽しむことができるようになりました。

この画像は、1878年のベルリンにおけるドライクリーニングの様子を描いたものです。

画像は6つの区画に分かれており、それぞれ異なる工程の作業が描かれています。中央上部には工場らしき建物群と、水路のようなものが描かれています。各区画には、機械や道具を使い、人々が衣類を扱っている様子が見られます。当時のドライクリーニング技術や、工場の様子を垣間見ることができます。

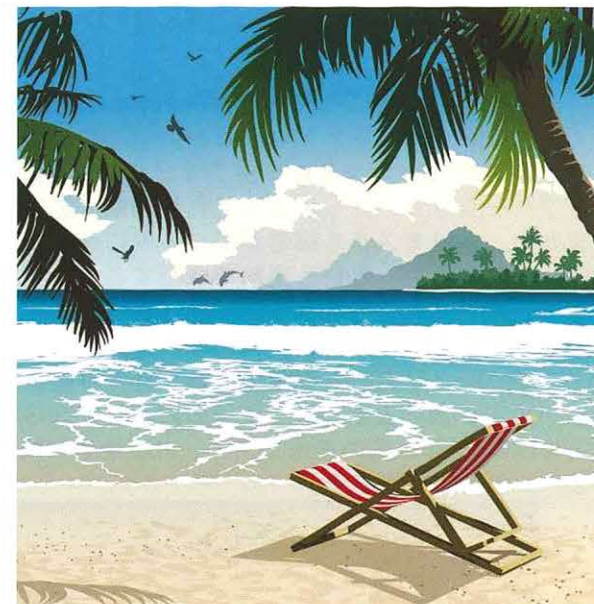
当時、ドライクリーニングは、世界各地で画期的な洗浄方法として歓迎され、20世紀の大衆ファッションに貢献することになりました。

HD NEWS 2025 年7月 25 日隔月発行 第21 巻第4号通巻122号

くらし応援ニュースレター

HomeDry News

ホームドライニュース No.122



●絵画の中の洗濯風景:

19世紀末の画期的なドライクリーニング工場

●ファッションのちょっと・ウンチク: ポケットチーフ

●繊維と服飾の物語:

立体的な造形をつくるプリーツは古代から

●なるほど納得!衣生活の知恵:

保管中に高温になりがちな夏のクローゼット

まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ

繊維と服飾の物語



立体的な造形をつくる プリーツは古代から

プリーツは、1960年代のポリエステル普及以来広くファッションに取り入れられるようになり、イッセイミヤケが1994年春夏に単独ブランドとして発表した“プリーツプリーズ”によって世界的な大流行となりました。ポリエステル繊維がプリーツに適しているのは、「熱可塑性」という高熱で成型すると形状がしっかりと記憶される性質からプリーツを維持することができるからです。

衣装に襷（ひだ）を型付けするプリーツ加工には、長い歴史があります。最も古いものとして知られているのは4000年以前の古代エジプトの王族や宗教者の衣装にみられるものです。



古代エジプトのチュニック（ルーブル美術館）

このチュニックの素材は麻なのですが、麻は水に濡れると繊維が伸びて、プリーツはすぐに消えてしまうこととなります。このことからプリーツの衣装は、儀式など特別な機会だけに着用されていたものと思われます。儀式に着用されるプリーツの衣装といえば、現

代もギリシャで行われているオリンピックの点火式の光景があります。



オリンピック点火式でのプリーツの衣装

古代ギリシャの彫像の多くにプリーツの衣装をまとったものが見られます。

世界中の民族衣装にも、イスラム圏のブルカなどプリーツはよく使われています。日本でも、袴をはじめ、多くのプリーツ（ヒダ）を用いた衣服が見られますが、7世紀の終わりとされる奈良・高松塚古墳の壁画にも見られます。



裾に細かいプリーツ（高松塚古墳壁画より）

プリーツは、一説に神聖な光（光芒）を身にまとうという信仰に起源があるともされています。

華やかでありながら爽やかな印象のあるプリーツは、春夏物のおしゃれ着として愛されています。しかし、加工に不良がある製品は、型崩れすることがあります。また、綿やシルク素材のプリーツ加工はポリエステルに比較して消えやすいので、購入時には確認してください。



なるほど
納得！

衣生活の知恵

保管中に高温になりがちな 夏のクローゼット

保管中の冬物衣料は、冷房されていない部屋に置かれていることがあります。高温多湿のクローゼットに長期間閉じ込めておくと、カビや変退色など衣類に悪影響があります。特に、接着芯地やリバーシブルなど接着剤が使用されているものは、接着剤が徐々に変質して溶けだしてシミになることがあります。また、ドライクリーニングで溶け出しやすくなりますのでご注意ください！



乾燥した日に、冷房の効いた部屋で陰干ししましょう。また、扇風機やサーキュレーターなどをあてて、湿気を追い出しましょう。クローゼットにスノコを敷いて通気性をよくしたり、除湿剤を置いておくのも良いでしょう。ポリ袋に入れたままの保管は、湿気がこもってしまいますから絶対にやめましょう。